



GIFU PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS

(公社) 岐阜県理学療法士会ニュース

# らいちょう

No.115

HP:physiotherapy.gifu@gamma.ocn.ne.jp

## ご挨拶

第26回岐阜県理学療法学会

学会長 小島 誠

(所属：岐阜保健短期大学)

平成28年3月13日(日曜日)、岐阜県立図書館を会場に、第26回岐阜県理学療法学会を開催する運びとなりました。

本年度、東京で開催された日本理学療法学会大会が第50回(半世紀)という節目を迎えました。岐阜県理学療法士会主催の本学会もまた、今回で第26回を数え、諸先輩方の偉業を礎として新たな四半世紀の歴史を作るための節目として、「若い力～未来への礎～」というテーマを掲げ、今後の理学療法と理学療法士の進むべき標となるべく企画してまいりました。

現在、日本理学療法協会員の平均年齢は32.8歳、50歳以下の割合は95.6%(2015.3現在日本理学療法士協会HPより)です。現在活躍されているほとんどの理学療法士は、生まれた時には、既に理学療法というものが存在し、理学療法士が社会で活躍していたこととなります。私の所属する短期大学で、今まさに国家試験受験に臨む学生は平成6年度生まれです。平成6年当時を思い起こすと、当然のことながら理学療法士として勤務していた自分が浮かんでまいります。知らず知らずの間に若い世代が理学療法の世界を作り上げていることに気づかされます。しかし、それら多くの理学療法士が烏合の衆と化してはいけません。私たちは創世期における諸先輩方の苦勞と努力に敬意を払うと同時に、これからの時代を如何に積み上げていくかという問題意識を持った「若い力」の結集が必要不可欠であろうと考えます。ここから25年後に理学療法士がいつそう輝きのある存在となり、多くの若者がこの職業を目指そうと願う世界であるための第一歩となることを願っています。

本学会は理学療法士自身の研鑽と同時に、「理学療法士」が一般社会から遠い場所でないこと、「理学療法

### 目次

巻頭言「ご挨拶」.....(1)	会員の声.....(12)
平成27年度公益社団法人岐阜県理学療法士会 第3回理事会(要約).....(2)	研修会のご案内.....(13)
各部・委員会からの報告.....(4)	賛助広告.....(14)
	賛助会員.....(17)

士」が身近にあり、それぞれが一般市民の幸福を念頭に仕事をする存在であることを感じていただきたい。そのため岐阜県立図書館を会場とし、学会ホームページ、学会フェイスブックの運用など SNS を活用しながら、若い世代やその次の時代を担う方々への扉を開けて進めてまいりました。

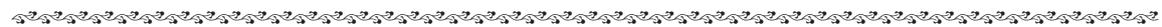
特別講演（一般公開講座）においては、岐阜大学医学部大学院医学系研究科関節再建外科学先端医療講座・リハビリテーション科准教授、青木 隆明先生をお迎えしております。

「障がい者スポーツ大会の帯同とチームドクターとしての役割」を演題として、一般市民の方々にスポーツアスリート、障がい者、リハビリテーション（理学療法）のキーワードが、深く関連付けられることによって、理学療法士の活躍する世界が身近にあることを印象づけたいと考えております。

会場となる県立図書館は、理学療法への興味の有無にかかわらず多くの一般の方が集う場所です。そのエネルギーを理学療法士の世界に取り込んでいこうと、昨年度学会の参加者 232 名を越える参加者数を目標としております。また、この会場は 18 年前、第 8 回学会を開催した場でもあります。当時を知る諸先輩方には、その時点から本学会が質と量ともに大きく飛躍できたことを実感していただく為にも、準備委員長を大野隆先生（岐北厚生病院）として岐阜圏域の多くの若い力で、進めてまいりました。

本学会は演題発表も然り、たくさんの方々の力を結集しエネルギーの満ち溢れるものになるものと感じております。そして非常に良い環境で開催できると確信しております。今まで学術研究の分野にあまり興味がなかった方々も、ご同僚はもとよりご家族やご友人等お繰り合わせの上、次の時代を担う一人としてお加わりください。

そして、何よりもそれぞれの～未来への礎～となるよう活発な議論の場、若い世代の理学療法士が主役となることを期待し、皆様のご来場を厚く厚く、心よりお待ち申し上げます。



## 平成 27 年度 公益社団法人岐阜県理学療法士会 第 3 回理事会（要約）

開催日時：平成 27 年 10 月 31 日（土）  
午後 12 時開始

開催場所：県民ふれあい福寿会館

出席者：榎林優、田中利典、山下恒彦、村雲憲、  
舟木一夫、小野晶代、岡村秀人、岸本泰樹、  
河合克尚、棚橋一憲、片田志保美

欠席者：木村信博、堀信宏、和田範文、吉川昌子

議長：榎林優

書記：伊藤友紀

会長 榎林 挨拶

東海北陸学会もいよいよ本格的に準備が始まりました。市民公開講座では、サッカーの木村氏が講演されます。脳卒中をされた体験談などをお話ししていただけるかと思えます。

### 1. 新入会員報告

平成 27 年 10 月 31 日現在、総会員数 1,316 名 6/29～10/31 新入会員 10 名（他 6 名申請中）

### 2. 平成 28 年度事業計画案

教育部事業拡大（事業拡大の為予算増額検討）  
榎林：新人の履修率が悪いので数を増やして広域で研修を行ってはどうか？

（結論）一度行ってみて参加状況・人材派遣状況などを踏まえて今後も継続するかを検討する。

地域包括ケア推進部新規事業（人材派遣）

表彰委員会（提案）

15 年と 25 年の方に表彰していますが、他県からの転入もカウントしている。休会者はカウントしていません。今後 15 年表彰者も 100 人になる可能性が出てきます。他の県士会では永年表彰は行っていないところがほとんどのため、永年表彰ではなく功労賞などのボランティアなど県士会や地域に貢献した方に表彰する形に変えてもいいのではないかと。

（結論）永年表彰を廃止し、地域貢献等の新たな表彰規程を作成し理事会にて承認後適用。

法人管理 (抜粋)

事務局

- 第1回理事会 平成28年5月14日(土)  
場所: 岐阜県水産会館
- 平成27年度総会 6月第3又は第4日曜  
場所: 岐阜県図書館
- 第2回理事会 平成28年7月3日(日)  
場所: 岐阜県水産会館
- 第1回部局長会 平成28年7月3日(日)  
場所: 岐阜県水産会館
- 第2回部局長会 10月中旬  
場所: 岐阜県水産会館
- 第3回理事会 平成28年11月19日(土)  
場所: 岐阜県水産会館
- 第4回理事会 平成29年2月5日(日)  
場所: 岐阜県水産会館

・総務部

会員管理、新入会案内、手続き(都道府県事務局、(公社)日本理学療法士協会)、送付ラベルの作成

・財務部 公益法人会計管理

・渉外部

賛助会員様宛に会員継続依頼文書ならびに振込用紙送付、及び賛助会員様宛に年賀状送付

その他、企業・施設様からの要請に応じて賛助会員、広告会員の趣旨説明を行う

・研究会助成委員会

研究会への補助: 岐阜県糖尿病リハビリ 岐阜県脳リハビリ 岐阜県アスレチックリハ

・選挙管理委員会: 平成29年の理学療法学会時

・政治参加特別委員会

士会員への岐阜県理学療法士連盟における啓発活動など

3. 平成28年度予算計画案: 財務片田

事務局予算(変更部分を抜粋)

- 収入 会費収入 15210千円(会員100名増)
- 東海北陸理学療法学会大会収入 17366千円
- 県からの運営委託費収入 250千円など
- 支出 事務局、委員会ほぼ例年
- 東海北陸理学療法学会大会支出 17366千円
- 教育部 事業拡大 1265千円
- IT部 HPリニューアル 788千円
- 地域包括ケア推進システム部 人材派遣など

の新規事業 2385千円

概算で支出超過約100万円(繰越金で補てんできる範囲)

今回の理事会での指摘を受けて修正後次回理事会へ再提出

4. その他

・総務部より会員名簿のアンケート結果(アンケート回収率 109施設、666名 47.2%)

内訳 ①今まで通り各施設1部ずつ 439名

65.9%、②1人1部ずつ 51名 7.6%

③ホームページでの閲覧 148名 22.2%、

④いない 28名 4.2%

その他意見①施設1部ずつとホームページでも閲覧できるようにしてほしい。②ホームページで検索機能をつけてはどうか③個人情報の流出にならないようにしてほしい④名簿に職場メールアドレスの記載

・マイナンバー対応

片田: 県士会としては事務職員給与・講師料(5万円以上)・委託料の支払いに関してかかわってきます。取扱い規定作成等の委託(アドバンス社会保険労務士事務所)をしたい。

山下: 第3者がマイナンバーをコピーすることも禁止されています。取扱いのルールを作成。

棚橋: 廃棄するときのルールも徹底するべき。

(結果)承認

・傷害保険、イベント保険(片田)

高校生一日体験では損害保険等、子供福祉機器展ではイベント保険がかけてあります。

今後イベント数が増えることも予測されますので会員や、市民の皆様を守る為に保険をかけてはどうか?ただ人数が多いので金額が高い。

榎林: これから介護予防が始まるので市民の皆様と係る機会が多いので考えるべき。

河合: 組織として会員を守るのも考えるべき。

舟木: 会員もそうだが、相手に何かあるのが一番怖い。

岡村: 協会に年4000円で自分も相手も保障してくれる保険がある。

(結果)予算、福利厚生規定の見直し

全国事務局長会議報告

・今後、選挙活動は各士会で活発に行っていく必要が

ある。政治活動と選挙活動の区分が士会役員でも理解できていない状況。士会にて活動できる範囲の判断基準が明確ではない為、協会から今後の進め方について禁止事項が記載された冊子を購入し、早めに配布。

- ・東京都士会でオリ・パラに向け、準備を進めている。アスリート支援に注力しているが街づくりなども進んでいく中で、理学療法士だからこそ関わられるような部分があるのではないかと考え、街づくりは地域包括の観点からも非常に重要と東京都へ提案しようと動いている。
- ・楽天カード・口座振替の促進

入会申請について、現行は士会・協会承認後に振込用紙を送付し入金確認後、最終的な理事会承認まで1ヶ月半～2ヶ月程度かかる。初年度のみ現金振込後、楽天カード登録を依頼しているが、新入会者のカード作成者が非常に低く、現金振込者数が増加している。

次年度から、入会申請後、士会で申請受理の承認を行い、その段階で、ID・PWを発行し、会員権利の付与を行う。年会費入金後、会員カード発行する。マイページへログインした段階で楽天カードもしくは口座振替どちらか選択を必須とし、手続きを踏まないと次の段階へ進めない手順を取る。

- ・未納者に関して (片田)

H 27 年 10 月月末現在 未納者 93 名 未収会費総額 102 万円

催促をして支払いをして頂いた方もいるのですが、連絡不能の方が多くいます。

会員管理システムで勤務先の変更等をしていないようです。

会費を払っている会員の方がたに負担がかかりますので、未納者には厳しく対応したいと考えます。

### 協会指定カード（楽天カード）をお持ちでない方へ

日本理学療法士協会では、年会費納入及び各種協会主催セミナー講習会の参加費払いについて、指定カードによる納入を強く推奨しております。会員の皆様のご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

#### 【申し込み方法】

日本理学療法士協会 HP



マイページログイン  
(トップページ右上)



楽天カード申込サイト  
(トップページ左列)

#### 【楽天カードを発行すると…】

- ・引き落とし手数料はかかりません
- ・納入期限を過ぎることなく納めることができます
- ・銀行やコンビニに出向かなくて済みます
- ・現金振込にかかる収納手数料（年会費 486 円、研修会等 270 円）がかかりません

#### 注意！！

カードが更新されたときには有効期限の登録修正が必要です。マイページ⇒左列・会員情報確認・更新⇒右下・更新⇒楽天カード情報、でカードの有効期限を更新してください！

## 厚生部より

厚生部では、福利厚生事業と致しまして、平成 27 年度より結婚のお祝いとして、祝電からカタログギフト贈呈に変更となりました。

#### 4) 供花

会員本人に不幸があった場合、供花を供える。

#### 5) その他

会長が必要と認める事業（休会中の会員は会長決済）。

上記以外にもご意見・要望がありましたらご連絡ください。

#### 連絡先

〒 500-8288 岐阜県岐阜市中鶉 2 丁目 99 番地

T E L : 058-276-7755

F A X : 058-276-7733

介護老人保健施設「喜の里」

名和 敏晃

厚生部では、下記の 1) ~ 5) の内容を実施しております。会員の皆様（場合によってはご家族）に病气・不幸などが生じた際、また結婚の際には、ご一報をお願い致します。

1) 災害見舞金 会長の判断による。

2) 結婚の祝い

会員の結婚に際しお祝いの品を贈る（本人または他会員の申請による）。

3) 弔電

会員の両親、配偶者、子供死亡の場合は弔電。  
会員外は会長が必要と認めた場合。

#### 【その他の変更】

※ HP の左側のタブは、事務局ではなく社会局の所属になりますのでお願いします。

## 岐阜こども療育用具・福祉機器展 活動報告

去る8月1日、2日の2日間、岐阜産業会館において、「第6回岐阜こども療育用具・福祉機器展」が開催されました。



平成26年までの5年間、多治見市のセラミックパークMINOで毎年開催され、大変盛況であったこの展示会、6年目にして初の開催地域変更となりました。「東濃地区以外でも開催して欲しい」という多くの要望に応える形で、この機器展を深い愛で産み育ててこられた広田公益事業部長のお膝元、東濃地区からの初めての旅立ちとなったのです。

親元を離れた今年の福祉機器展は会場・運営委員・開催時期等、全てが大きく変わることとなり、まさに手探りの7か月間となりました。

今年度も昨年同様、岐阜県近郊から遠く九州まで、26社の企業様に出演していただき、2日間で約800名の方に会場へ足を運んでいただくことができました。

開催当日は記録的な猛暑日であったこと、毎年の恒例行事である長良川花火大会と日程が重なってしまったことで、お子さんの体調や交通事情を考慮し外出を控えられた方も多かったようです。ご来場者アンケートやスタッフ反省会を通し、展示内容やブース配置の工夫すべき点等、新たな課題も見えてきました。それらを踏まえ、来年度は更に多くの障がいを持つお子さまとご家族、小児領域に携わるセラピストの皆様へ足を運んでいただける展示会となるよう、知恵を絞っていきたくております。

現在、既に来年度に向けて準備委員会が動き出

しております。開催時期は6月に変更調整中です。「もっとこんな風にしたらいいいのでは?」「私も参加したい!」等々、会員の皆様からのお声、大歓迎です!



最後に、大きなトラブルなく、無事に2日間を終える事が出来たのは、吉川社会局長はじめ、業務の合間を縫って動いて下さった県士会各支部代表の準備委員の皆様、職種の枠を超え、快く力を貸して下さった「ぎふこどもリハビリテーション研究会」のメンバーの皆様のご協力のお陰です。心より感謝いたします。ご協力くださった皆様、当日会場へ足を運んでくださった皆様、本当にありがとうございました。

### 準備委員

吉川 昌子	大垣市保健センター
河野 香織	訪問看護ステーションやすらぎ
富崎 崇	松波総合病院
坂 直之	大垣市民病院
平工実奈子	県立下呂温泉病院
松尾 剛志	ポッポの家
矢野 生子	県総合医療センター
吉村利佳子	県立希望が丘こども医療福祉センター

### 各支部代表

岐阜支部	栗本 大資	松波総合病院
中濃支部	石塚 雅隆	木沢記念病院
中濃支部	伊藤 あかり	関中央病院
中濃支部	武市 陽介	関中央病院
西濃支部	内田 知洋	大垣市民病院

東濃支部 加納 利恵 訪問看護ステーション  
仁瑞浪

東濃支部 小林亜喜子 東濃厚生病院  
飛騨支部 酒井 章弘 県立下呂温泉病院

#### ぎふこどもリハビリテーション研究会

伊藤 智絵 (OT) 岩田 真李 (OT)  
内田江里華 (PT) 岡山 亮子 (OT)  
甲斐美津江 (ST) 加藤 郁代 (OT)  
川添 紅美 (OT) 住井 拓郎 (PT)  
田垣 敦朗 (OT) 田間 清良 (PT)  
中村 文乃 (PT) 山本 沙代 (PT)

(敬称略)

る今年度は、過去の反省を活かして、これら二つの内容に絞りました。

ミニ講演は、「速く走るための準備運動」「正しい歩き方講座」「良い姿勢の話」の3講演を2~3クール行い、合計で70~80名くらいの方に参加していただきました。昨年より一講演ごとの時間に余裕があり、講演後にも活発な質疑応答が行われていました。4年目にして初めて、イベント会場に常にお客さんがいる状況を作れました。

今回は、役員3人が講師を務める形で行いましたが、ぜひ来年度は会員の方々にも講師として参加してみたいです。

#### 【西濃支部活動報告】

### 平成 27 年度 理学療法フェア開催！

平成 27 年 9 月 20 日 (日) に、大垣アクアウォーク 1 階のイベント会場にて、“理学療法フェア”を開催致しました。例年 7 月の理学療法週間に開催しているこのイベントは、今年も同じ時期に開催する予定でしたが、会場との調整に手間取り 9 月の開催となりました。



今年度のテーマは「大人も子どもも障害予防」とし、介護予防を必要とする高齢者だけでなく、中高年者や子ども向けのミニ講演と体力測定を行いました。このような形式で行うようになって 4 回目にな



毎年恒例となった体力測定は、子供から高齢者まで様々な年代の 180 名近くの方々に参加していただきました。毎年楽しみにして来てくださるお客さんも増えてきました。今回、初参加でお手伝いいただいた会員の方が多かったのですが、みなで協力してスムーズに実施できたと思います。

毎年役員の所属する施設の会員にお手伝いが偏っていましたが、今年はそれ以外の施設からも多くの方に参加していただき、23名の会員とともにフェアを運営できたことを嬉しく思っています。また来年度も開催したいと思っていますので、多くの会員の皆様のご協力をよろしくお願ひします。

文責：西濃支部長 白井美由紀

## 【東濃支部活動報告】

### 『RUN 伴 (PLUS) 2015 に参加して』

日時：平成 27 年 10 月 18 日 (日)

場所：東濃各地⇒恵那市市役所



皆さんは“RUN 伴”って知っていますか？ RUN 伴は 2011 年から開催されている認知症の人に何か支援をするのではなく、走ること、タスキをつなぐことを通じて、誰もが自分のことととらえ、企業、行政、市民が力をあわせ誰もが安心して暮らせる地域を作っていくことを目的とした北海道から九州まで櫛をつなぐキャラバンです。恵那地域を中心に昨年初めて参加し、今年で 2 年目の参加となりました。東濃支部においても支部活動の一つとして昨年から参加している事業です。



参加者は当事者をはじめとして医療、福祉、介護施設の職員、一般の市民の方など様々であり、昨年は全国で約 4600 人の参加があり、恵那地域では 382 人（県士会東濃支部からは 13 人参加）の参加がありました。今年は全国で約 8000 人、恵那地域ではランナー、サポーター含め 741 人の参加者があり、東濃支部の理学療法士からは計 19 名が参加し

ました。今年は恵那市内各地をはじめとして中津川市、土岐市、瑞浪市など各地からスタートして恵那市役所を目指してタスキをつなぎました。

今年は東濃支部として恵那市役所で行われた RUN 伴イベント会場にて認知症予防運動で有名な“コグニサイズ”紹介コーナーも行き、イベント会場に来てくださった方々にコグニサイズの紹介、体験も行い多くの方にコグニサイズの体験をもらえました。参加者の中には病院から施設へ転院した患者さんにゴール会場で出会うといった嬉しい出来事もありました。

認知症はリハ専門職が必ずと言っていいほど出会う疾患です。認知症はオレンジプランとして国の施策の一つとなっています。その認知症の課題を、認知症の人や家族、支援者だけでなく、行政や一般住民などの皆さんが、同じタスキをつなぐ体験を通じて、様々な人同士が出会い、認知症の人も暮らしやすい地域について考えることができ、私たち理学療法士もその一役を担うことができると考えます。このイベントは来年度も開催されると思います。東濃支部のみでなく多くの理学療法士会会員に参加して頂けたら幸いです。



## 【東濃支部活動】

## 多治見市社会福祉協議会主催 「2015 ふれあい福祉まつり」に 参加してきました！

日時：平成 27 年 10 月 24 日（土）9:00～16:00

場所：多治見市総合福祉センター

東濃支部では、『地域の皆様の健康と理学療法士の啓発活動』を目的に、毎年東濃地域内での様々なイベントに参加させていただいております。

今年は、平成 27 年度は、10 月 24 日（土）、多治見市総合福祉センター内にて開催されました『2015 ふれあい福祉まつり』に、総勢 9 名のスタッフで参加してきました。

活動内容は、

- ① 高齢者・障がい体験
- ② コグニサイズの紹介・体験、パンフレットの配布
- ③ ロコモティブシンドロームの紹介・パンフレットの配布

ふれあい福祉まつりは、例年、小学生を中心とした子どもさんの参加が多く、理学療法士会のブースも、お子様連れのご家族を中心に多くの方に足を運んでいただきました。

高齢者・障がい体験では、軍手をして感覚を鈍くした状態で、お菓子の包装を開けることの不自由さを体験してもらうコーナーで、「おじいちゃん、おばあちゃんもこんな感じなんだよ。困ってたら手伝ってあげてね。」とのスタッフの声かけに、「うん！」と元気よく返事を返してくれた小学生の子に、スタッフも笑顔をもらいました。



また、コグニサ

イズの紹介・体験コーナーでは、二重課題の難しさを体験され、「今から気を付けなくっちゃ。」と積極的にパンフレットを持って帰られる光景に、地域の方々の意識の高さを感じることが出来ました。



地域で暮らす方々のため、地域に還元できる理学療法士を目指し、公益事業部の活動を続けていきます。この活動に参加して下さったスタッフの皆さま、参加の機会を与えて下さった関係者の皆さまに、こころより感謝申し上げます。

来年度も、東濃地域いずれかの市町村で活動したいと考えておりますので、機会がございましたら是非ご参加ください。

東濃支部公益事業部スタッフ一同

【東濃支部活動報告】

## 地域在宅医療連携推進協議会主催 研修会と交流会

日時：平成 27 年 10 月 31 日（土） 16:00 ～

場所：にぎわいプラザ



地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療・介護連携の推進のため、医師会中心による協議会が県内各地区で発足しております。東濃支部中津川地区・恵那地区において、理学療法士会より委員として参加させて頂いております。

今回、中津川地区協議会において、「顔の見える関係づくり」をテーマとして研修会と交流会が開催されました。医師会・歯科医師会・薬剤師会・行政・医療保健福祉等に関する専門職が 100 名を超えて参加されました。理学療法士会からは 15 名が参加。研修会では、恵那医師会会長による「介護と認知症」の講演に始まり、介護支援専門員と訪問看護ステーションそれぞれから事例報告がされました。交流会では、専門職がランダムに 10 テーブルに分かれ交流を図りました。医療関係と介護関係の専門職が交流を図る機会はなかなか存在していなかったため、



新鮮でそれぞれの専門職の問題点を共有する良い機会となりました。

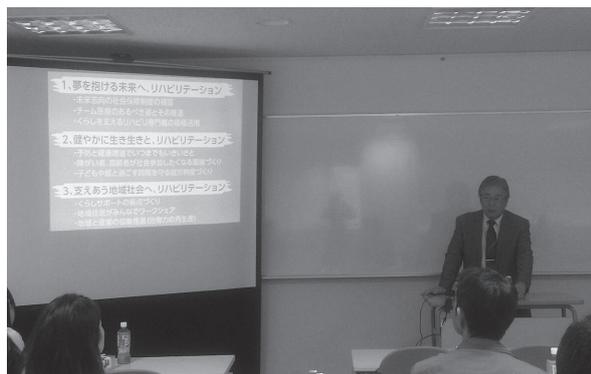
今後、医療と介護における地域資源を効率よく利用できるシステムを構築するため、まだスタートしたばかりですが、それぞれの専門職が垣根を超えて共に進んでいく必要がございます。理学療法士として何が出来るのか!? 理学療法士自身もですが多職種にも理解して頂けるよう努力していきたいと思っております。

## (公社) 日本理学療法士協会 小川かつみ副会長 岐阜訪問

政治参加特別委員会

委員長 加納利恵

10 月 31 日（公社）岐阜県理学療法士会部局長会議にて、小川かつみ副会長より理学療法士における問題等、将来の理学療法士のために何をすべきかお話しいただきました。2030 年には 65 歳以上の方が人口の 3 分の 1 となり、生産人口減少と共に税収も減少することが明らかで、理学療法士は現状の推移で考えれば 30 万人となる。その時に理学療法士の仕事はあるのだろうか!? これからの社会に理学療法士が必要といえるのだろうか!? 様々な問題がございます。これまで小川副会長は協会副会長・事務局長として、将来の理学療法士の生活を守らなくてはならないと考えてきていらっしゃいました。職能団体として理学療法士の専門性を確立、役割・職域を拡大するため、そして国民が安心して生活できるシステムを構築するため、協会として要望し国政へ届けなくてはなりません。そして、国政への発言力を高めるため、「小川かつみ全国後援会」が半田協会長を代表として設立され、現在、小川副会長は全国各地を回り理学療法士に現状を訴えていらっしゃいます。協会のファックス通信でもご案内があったように現在 14 万人を超える皆さまに支援をいただいております。しかしながら、国政への発言力を高めるためにはさらなるご支援を頂く必要がございます。

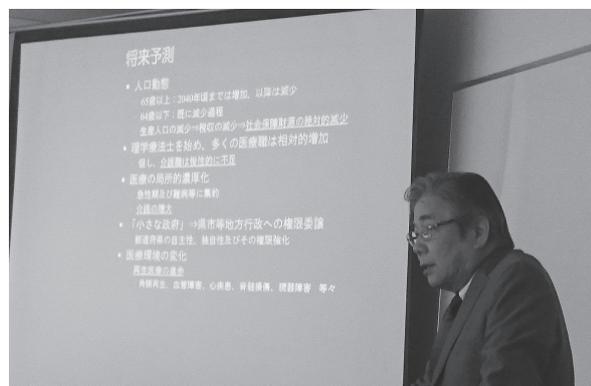


岐阜県においても和田範文理事を幹事として組織づくりを進めているところがございますので、皆さまのさらなるご支援をよろしくお願いいたします。

また今回は部局長を対象として小川副会長にお話しをいただきましたが、今後、岐阜県理学療法士会会員の皆さまにも小川副会長の想いを共有させて頂きたく、岐阜へお呼びする予定でございます。ぜひその際には足を運んでいただき、皆さまで将来の理学療法士の姿を考えていきたいです。価値ある未来に向けて!!

「小川かつみ Facebook ページ」

<https://www.facebook.com/ogawakatsu3>



## < 会 員 の 声 >

### 「山」

(株) ケアトピック 生活支援センターきりん

上井 雅史

「会員の声」の依頼を頂き、何を書こうか迷いましたが、リハビリや理学療法については他先生方が十分に語られておられますので、私は趣味である登山について少し書かせていただければと思います。

私は登山が趣味で、休みを使っては色々な山に行っています。登山といってもいろいろあり、普通に登山道を使い山頂を目指す一般登山から、コース整備されていないバリエーションルートや岩壁を登攀するアルパインクライミング、冬季登山、氷壁を登るアイスクライミング、また今オリンピック種目に入るか注目されているスポーツクライミングなど多くあります。

若いころは飛騨地方という北アルプスを擁する日本有数の山岳地帯に住みながら、山にはあまり興味はありませんでした。その後も理学療法士養成校に入るため上京し、卒業後もしばらくは東京の病院に勤務していたこともあり特に山に関わることはありませんでした。30代になり結婚を機に帰郷することになり徐々に飛騨に住み、ゆっくりとした時間を過ごす中で、山を眺める機会が多くなり、特に理由はありましたが次第に山に魅かれていきました。

今では上記した登山全般をしています。最初は友人に連れられて、不安いっぱい一般登山道から槍ヶ岳に登り、その日は疲労や興奮、不安でテントの中でほとんど眠れなかったことを覚えています。その後は自分で計画を立てて山に登るようになり、徐々に登山道ではないバリエーションルートを自分で探り登って行くスタイルになり、現在では簡単ではありますが岩壁や氷壁登攀までが自分の範疇となりました。やるべき山の難度が上がるにつれて行動計画や装備選択、体力作り等、準備がよりシビアで確実性を求められるようになり、失敗が生死に直結するようになりました。何度か実際にミスもしまし

たが、リハビリが良かったのか、たまたま運が良かったのか、今のところ有り難いことに生きられています。

計画や行動がすべて自己責任として自分に返ってくることを、山を通じて何度も体験したことで、理学療法士として自分がどうなりたのかビジョンを持ち、自分で考え、切り開く力が少しは付いたのかなと考えています。

仕事では、今年1月に前病院を退職して、現在のケアトピックに入職、9月にはリハビリ特化型デイと訪問看護・リハ部門を立ち上げ、ケアプランセンター、訪問介護と統合して、飛騨高山地域の在宅生活を応援するための「生活支援センターきりん」を開設しました。このように自分の構想が実行まで移せたのは、関係者の皆様や会社の応援があってこそですが、山に関わっていたからこそできたことではないかと自分では考えています。残念ながら開設により業務が煩雑になり山に行く機会は減ってしまいましたが、今は理学療法士として利用者様のために頑張って登っていきたいと思います。

## 会員の皆様へ

現在、最新の協会&県士会ニュースを「岐阜県理学療法士会」フェイスブック&ツイッターにて発信しています。

是非、フェイスブックで「いいね!」、ツイッターで「フォロー」していただき、情報を共有しましょう。

「岐阜県理学療法士会」で検索していただくか、県士会ホームページから入ることができます。ご協力よろしくお願ひ申し上げます。m(\_ \_)m

フェイスブック

<https://www.facebook.com/gifupt>

ツイッター

<https://twitter.com/gpta2012>

## H27 賛助会員

会社名・施設名	電話番号
<b>有限会社 加納ビジネス</b> 〒500-8456 岐阜県岐阜市加納大黒町2-32	TEL 058-273-3007 (代)
<b>有限会社 中部義肢</b> 〒486-0911 愛知県春日井市西高山町3丁目16-12	TEL 0568-34-7143
<b>岐阜保健短期大学</b> 〒500-8281 岐阜県岐阜市東鶉2丁目92番地	TEL 058-274-5001
<b>東名ブレース株式会社</b> 〒489-0979 愛知県瀬戸市坊金町271	TEL 0561-85-7355
<b>株式会社 松本義肢製作所</b> 〒485-8505 愛知県小牧市大字林210-3	TEL 0568-47-1701
<b>特定医療法人社団慶桜会 東可児病院</b> 〒509-0214 可児市広見1520番地	TEL 0574-63-1200
<b>学校法人誠広学園 平成医療短期大学</b> 〒501-1131 岐阜県岐阜市黒野180	TEL 058-234-3324
<b>中部学院大学</b> 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘2丁目1番地	TEL 0575-24-2211
<b>有限会社 名西技術所</b> 〒452-0902 愛知県清須市助七美里50番地	TEL 052-400-1118
個人名	
<b>細田和義</b>	

## 編集後記

らいちょう115号作成に当たり、巻頭文・会員の声の原稿依頼を快諾して、ご協力下さいました、小島誠氏、上井雅史氏に感謝致します。  
この場を借りて、お礼申し上げます。

10月末になり、徐々に年末に近付いています。  
最近、1年が過ぎるのが早いと感じるようになってきました。  
目標をしっかりと立てていかないと、あっという間に1年が過ぎて、今年の自分はどんな成果、成長をしたのかと考えても、何もでてこない。なんてことになりかねませんね。  
このような事を、私自身考えながら行動を起こしています。  
皆さんは、今年の目標は順調に進んでいますか？  
順調に進んでないな、忘れていた方は、今からでも年末に向けて何ができるのか、もう一度計画を練ってみてはいかがでしょう？  
今からでも行動を起こさないよりはいいか。そんな軽い感じでやってみてください。  
それでは、今年の残りの期間を有意義にお過ごしください。(Y)

## 公告掲載のご案内

士会ニュース公告掲載のお問い合わせ・申し込みにつきましては  
広報部までお願いいたします。

広報部

〒503-2417 揖斐郡池田町本郷 1551-1

医療法人社団橋会 新生病院

リハビリテーション科 伊藤康行

TEL.0585-45-3161 FAX.0585-45-3255

E-mail : shinsei4@octn.jp

2015. 11. 24

発行人：公益社団法人 岐阜県理学療法士会

会長 榎 林 優

事務局：〒500-8384 岐阜市藪田南1丁目11番12号

岐阜水産会館 601号室

TEL・FAX (058) 277 - 6166

編集：伊藤康行

印刷所：(有)いすくら